

“パワーハラ”に 要注意!?

いつもお世話になっております。

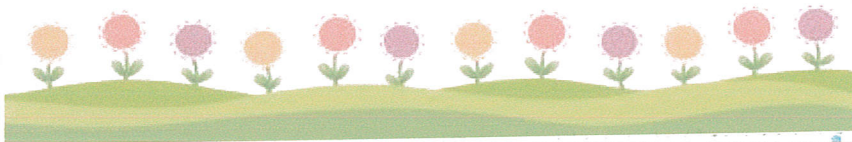
厚生労働省が実施した調査で、職場でパワーハラスメントを過去3年間に受けた人が32.5%に上りました。これは、2012年の調査時より、7.2ポイント上昇しており、企業の4社に1社はパワーハラ対策を検討していないこともこの調査で明らかになっています。

何度も繰り返してパワーハラを受けた人の36.1%は眠れなくなり、20.9%の人は通院や服薬をしているということです。

また、同省の別の調査では、うつ病になって病氣休暇をとった会社員の半数近くが復帰から5年以内に再発し、再び病氣休暇をとっていたこともわかりました。仕事量の多い職場で働く人ほど病氣を引き起こしやすくなっていたとのことでした。

うつ病を発症する原因の一つが上司のパワーハラスメントにあるとして、今年度から、長時間労働が疑われる企業を労働基準監督署が監督・指導する際に、自社のパワーハラ実態を調査することなどを求めていくそうです。

意図しない言動や、注意・指導としての発言が“パワーハラ”だ!と受け止まれるかもしれません。忙しいときや上手く伝わらない時など、イラッとすることもあると思いますが、そういうときこそ、一呼吸おいて常に冷静な対応を心がけたいものです。



メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡くださいませ。